

# 2026年3月期 決算説明資料

テクノロジーで  
地球にやさしい未来へ

**トリニティ工業株式会社**

東証スタンダード市場 6382

2026年4月27日

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2027年3月期 業績予想

# 1. 2026年3月期 決算概要

- (1) 連結業績の概要
- (2) 営業利益増減要因（前期比）
- (3) セグメント別売上高（地域別・部門別）

# 決算概要 (1) 連結業績の概要



- 売上高、営業利益は前期比減収・減益、公表値比較減収・増益
- 経常利益、当期純利益は過去最高を更新

【単位：百万円】

	2025年3月期		2026年3月期		増減			公表値	
	売上高	売上高比	売上高	売上高比	増減	売上高比	公表値	達成率	
売上高	40,217	—	<b>38,960</b>	—	△3.1%	△1,257	—	39,000	99.9%
営業利益	3,245	8.1%	<b>3,190</b>	8.2%	△1.7%	△55	+0.1%	2,700	118.1%
経常利益	3,521	8.8%	<b>3,728</b>	9.6%	+5.9%	+207	+0.8%	3,300	113.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,403	6.0%	<b>2,688</b>	6.9%	+11.9%	+285	+0.9%	2,300	116.9%

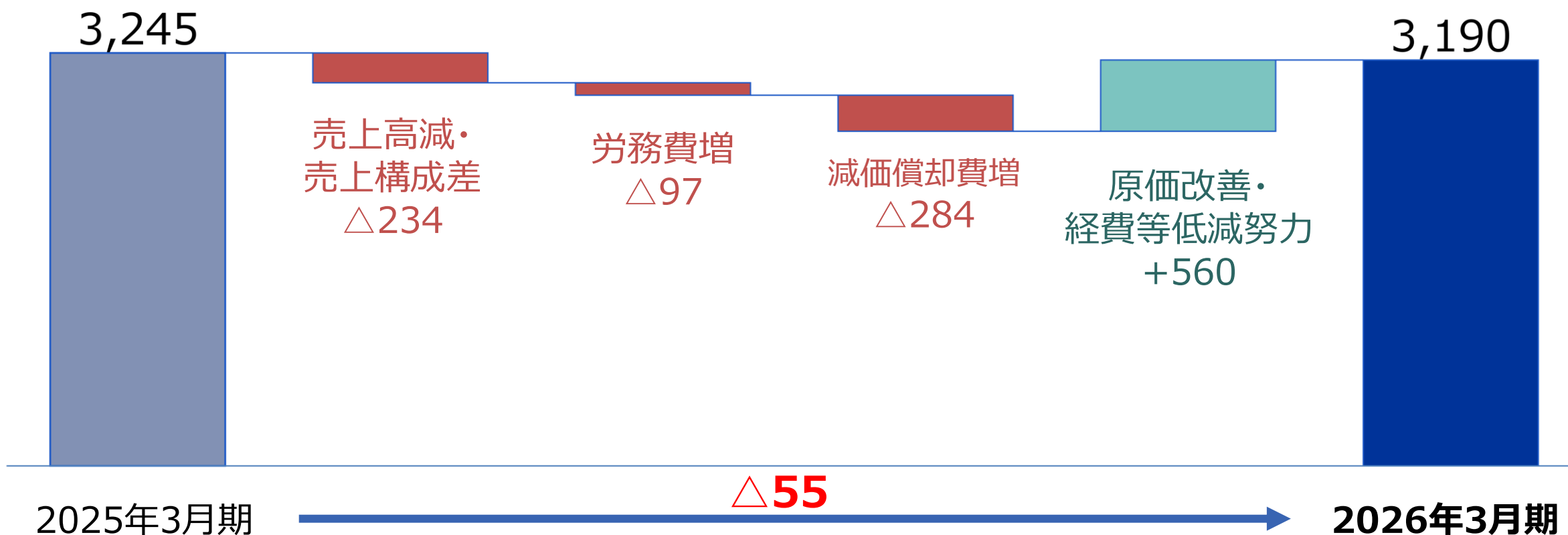
○ は増減率

# 決算概要 (2) 営業利益増減要因 (前期比)



■ 売上高減、減価償却費および労務費の増加を原価改善、経費等低減努力によりカバーしたものの減益

【単位：百万円】



# 決算概要 (3) セグメント別売上高 (地域別・部門別)



- 地域別売上高：海外（アジア）は増加したが、国内の減少により全体は減少
- 部門別売上高：自動車部品部門、設備部門ともに減少

【単位：百万円】

	連結売上高	2025年3月期		2026年3月期		増減	
			構成比		構成比		構成比
地域別	日本	32,338	80.4%	<b>30,893</b>	79.3%	△1,445	△1.1%
	中国	2,717	6.8%	<b>2,094</b>	5.4%	△623	△1.4%
	アジア（中国除く）	3,190	7.9%	<b>4,153</b>	10.6%	+963	+2.7%
	その他	1,972	4.9%	<b>1,820</b>	4.7%	△152	△0.2%
	合計	40,217	100%	<b>38,960</b>	100%	△1,257	—
部門別	設備部門	29,903	74.4%	<b>29,372</b>	75.4%	△531	+1.0%
	自動車部品部門	10,314	25.6%	<b>9,588</b>	24.6%	△726	△1.0%

## 2. 2027年3月期 業績予想

- (1) 連結業績予想
- (2) 営業利益増減要因（前期比）
- (3) 設備投資の推移
- (4) 株主還元（配当予想）

# 業績予想 (1) 連結業績予想



## ■ 前期比増収・減益

【単位：百万円】

	2026年3月期		2027年3月期		増減		売上高比
	売上高	売上高比	売上高	売上高比	増減	増減率	
売上高	38,960	—	<b>40,000</b>	—	△2.7%	+1,040	—
営業利益	3,190	8.2%	<b>2,000</b>	5.0%	△37.3%	△1,190	△3.2%
経常利益	3,728	9.6%	<b>2,850</b>	7.1%	△23.6%	△878	△2.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,688	6.9%	<b>1,950</b>	4.9%	△27.5%	△738	△2.0%

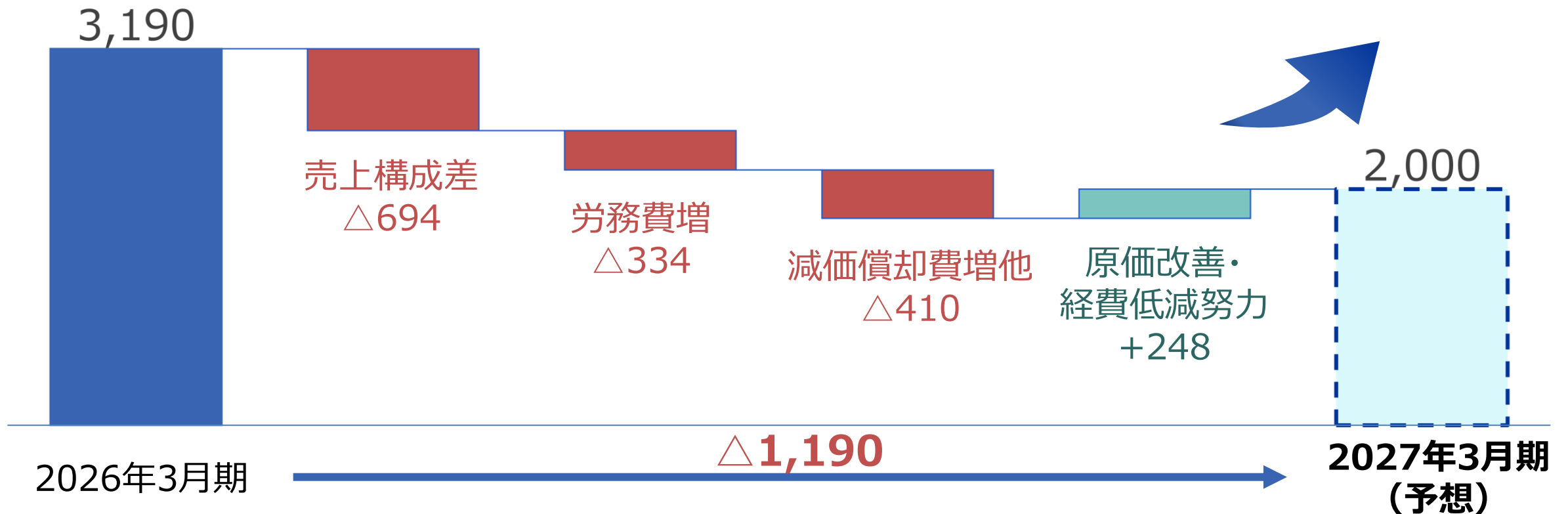
○ は増減率

# 業績予想 (2) 営業利益増減要因 (前期比)

- 中東情勢やアメリカの政策動向等により世界経済の先行きが不透明な状況の中、労務費や技術開発センター(TTSC\*)稼働に伴う減価償却費他の増加もあり保守的な見込み
- 飛躍のための準備期間と位置づけ、成長戦略、財務資本戦略に基づいた取組を実行

\*Trinity Technical Solution Center

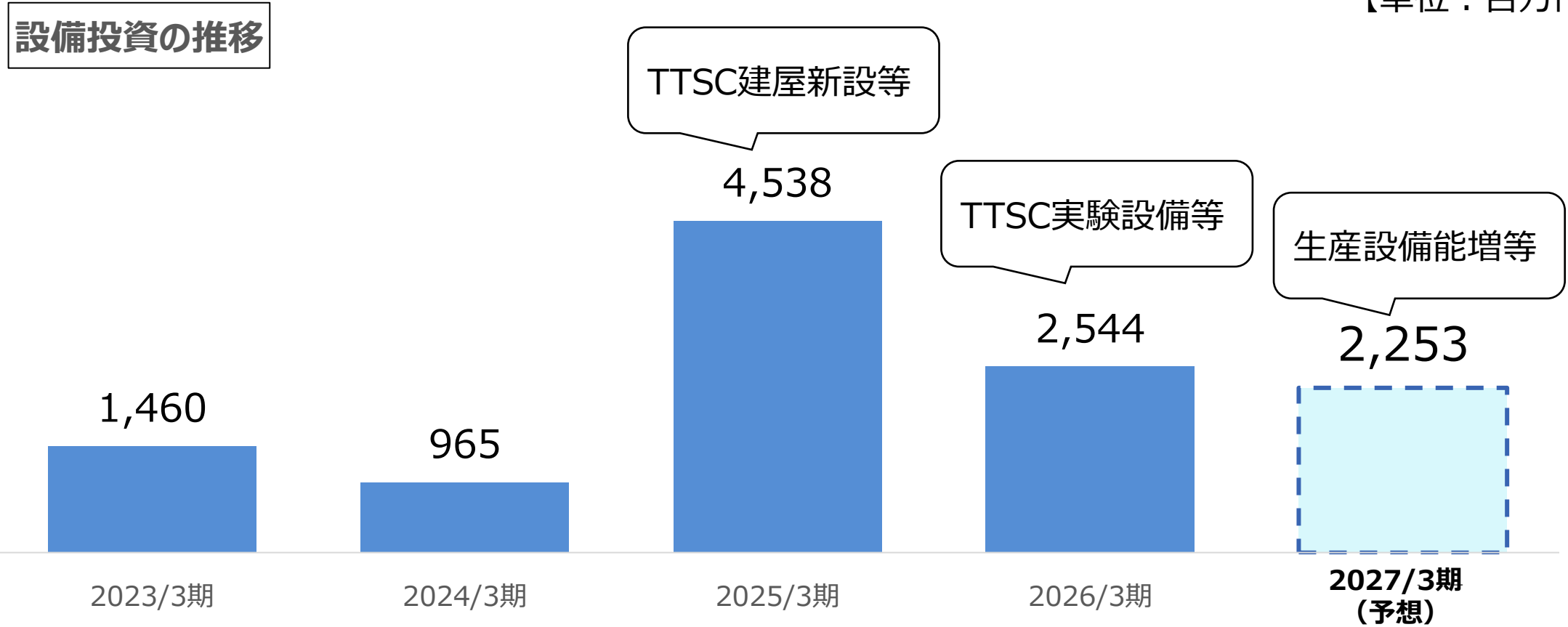
【単位：百万円】



# 業績予想 (3) 設備投資の推移

- 生産設備能増等、将来を見据えた戦略的投資継続

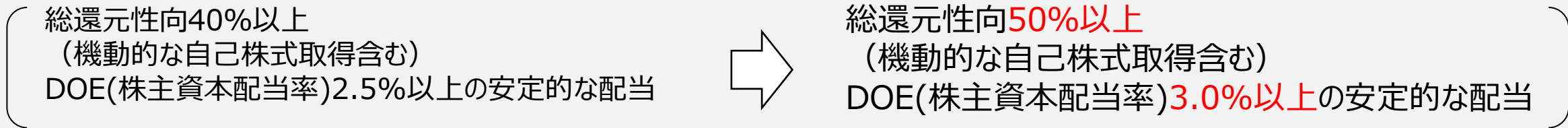
【単位：百万円】



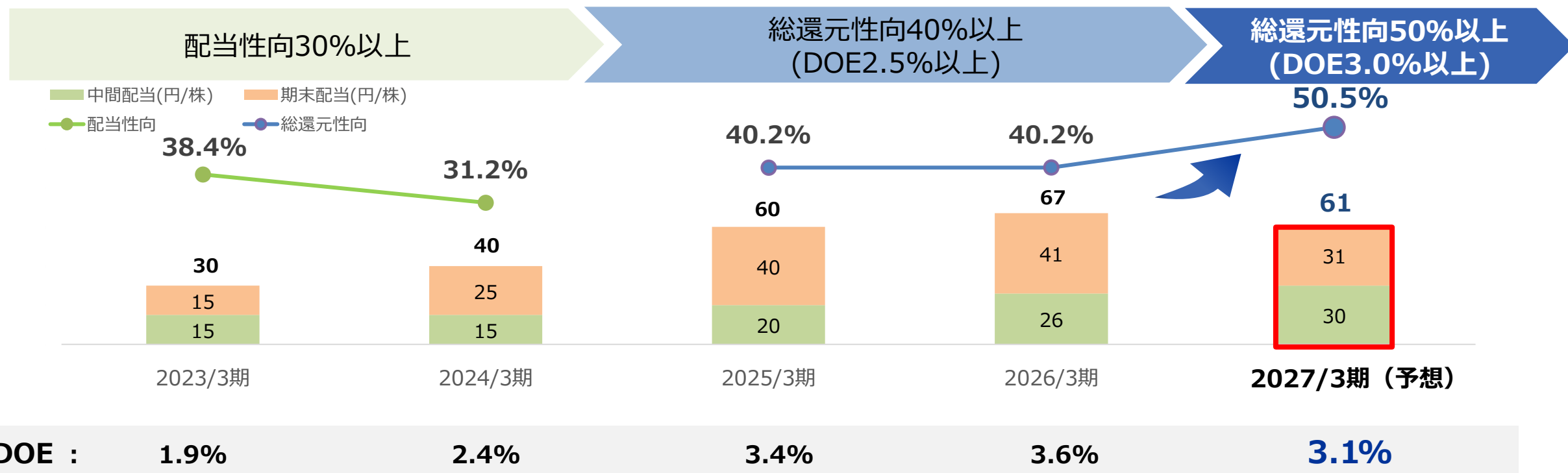
# 業績予想 (4) 株主還元 (配当予想)

## ■ 株主還元方針の変更

・株主への利益還元をより一層充実させるため変更



## ■ 2027年3月期は1株あたり61円 (総還元性向50.5%) を予想



# 【参考】財務指標の推移

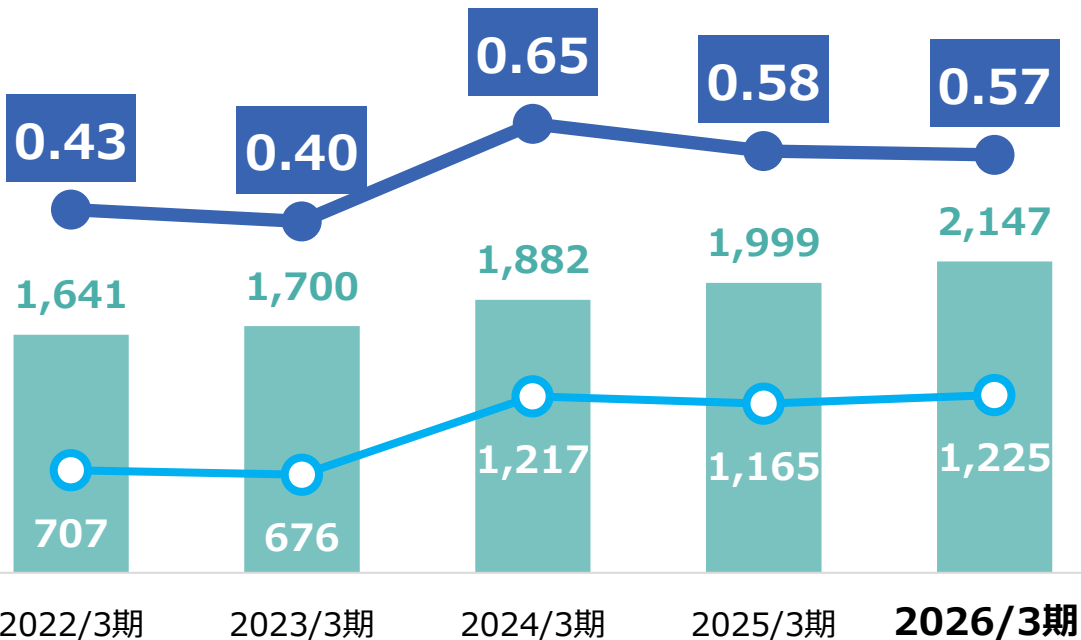


- PBR：株価は高まってきたものの、1倍以下で推移
- ROE：株主資本コストを上回っており改善傾向

## PBRの推移

期末株価÷1株当たり純資産

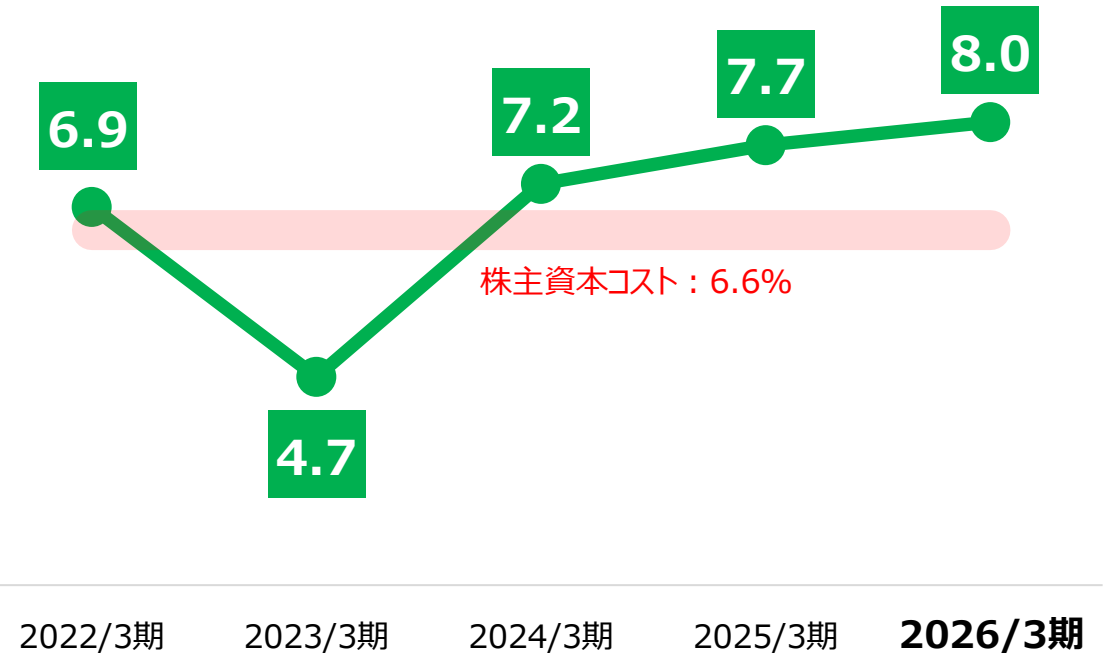
■ 1株当たり純資産(円)   ● 期末株価(円)   ● PBR(倍)



## ROEの推移

当期純利益÷自己資本

● ROE   ● 株主資本コスト



### ◆2026年4月27日付にて、『中期経営計画(2026-2030)』を公表

- ▶2030年度 連結数値目標：売上高 500億円、営業利益 50億円、営業利益率10%、PBR 1倍以上、ROE 10%以上の早期達成

### 中期経営計画(2026-2030)

詳細については、以下のURLより参照ください

<https://www.trinityind.co.jp/wp/wp-content/uploads/2026/04/27.pdf>



**トリニティ工業株式会社**  
**TRINITY INDUSTRIAL CORP.**

## 本資料の取り扱いについて

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。